

研究種目：基盤研究 (C)
研究期間：2007 ~2010
課題番号：19520477
研究課題名 (和文) 学習へのプラスの波及効果を生む実用的スピーキングテストの研究・開発
研究課題名 (英文) Research and development of a practical speaking test with positive effect on learning
研究代表者
平井 明代 (HIRAI AKIYO)
筑波大学・大学院人文社会科学研究所・准教授
研究者番号：00312786

研究代表者の専門分野：英語教育
科研費の分科・細目：科学教育・教育工学
キーワード：スピーキング

1. 研究計画の概要

本研究は、実用性のあるスピーキングテストの研究・開発を目的とし、発信能力だけでなく受容能力への指導・学習にプラスの波及効果を生むテスト形式として、読んだ内容を話す方式のスピーキングテスト (SRST) とその評価方法の開発をめざす。

2. 研究の進捗状況

(1) 19 年度 (初年度)

ストーリー・リテリング・スピーキングテスト (SRST) の開発を行った。

①初級レベルの SRST の開発に向けて、記憶の負担なくストーリーに関して話ができるテキストの長さの見当を行った。実験の結果、発話再生量から、100 語から 150 語程度の長さが妥当であることがわかった。

②次に SRST テストの妥当性を検証するため、受験後にアンケート調査を行い、受験者のテストに関する知覚を調査した。その結果から、テストの妥当性およびプラスの波及効果があることを検証した。

③最後に SRST の実用性に関しては、実施手順を面接式スピーキングテストと比較し、効率よく実施できることを実施段階から確認した。

④上記に関して、口頭発表を行うとともに論文にまとめ、国際誌に投稿した。

(2) 20 年度 (2 年目)

開発した SRST スピーキングテストを評価するための評価尺度の開発を行った。

①実用性および信頼性に優れていると言われている EBB 尺度 (Empirically derived, Binary-choice, Boundary-definition scales; Turner & Upshur, 1996) 方式の評価尺度を SRST 用に作成し、従来の分析的評価尺度を使用した場合とで、スピーチの得点がどの程度一致するかを調べ、妥当性の 1 つの証拠とした。

②さらに EBB 方式は、信頼性の面で優れていることがわかったが、実用性の面で既存の分析的評価尺度に比べて若干劣っていた。このため、次年度に EBB 評価尺度を改良することにした。

(3) 21 年度 (3 年目)
EBB 評価尺度の改良および併存的妥当性の検証への準備を行った。

①前年度実施した評価尺度は信頼性および実用性に若干問題があるため修正を加え、再実験を行った。

②再分析を行い、信頼性だけでなく実用性も高いものにした。最終的に改良した BEE 評価尺度に関して、論文にまとめた。

③続いて改良した EBB 評価尺度の妥当性を調べるために、受験者に SRST および市販されているスピーキングテスト 2 種類 (Versant、SST) を受験してもらった。その結果を今後分析していく。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

当初予定していた SRST スピーキングテストの開発を初級レベルに関して完成させ、その評価方法も確立させることができた。

4. 今後の研究の推進方策

SRSTテストと市販のスピーキングテスト2種類を同一学生に受験してもらった結果を分析し、SRSTがどの程度妥当性があるか検証していく。また、リスニングテキストを使ったストーリー・リテリングテストの開発にも着手する予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計6件)

①Koizumi, R., & Hirai, A. (2010). Exploring the quality of the Story Retelling Speaking Test: Roles of story length, comprehension questions, keywords, and opinions. *ARELE (Annual Review of English Language Education in Japan)*, 21. (査読あり)

②Hirai, A., & Koizumi, R. (2009). Development of a practical speaking test with a positive impact on learning using a story retelling technique. *Language Assessment Quarterly* 6, 151-167. (査読あり)

③Hirai, A. & Koizumi, R. (2008). Validation of an EBB scale: A case of the Story Retelling Speaking Test. *Japan Language Testing Association (JLTA) Journal*, 11, 1-20. (査読あり)

[学会発表] (計5件)

①Hirai, A. & Koizumi, R. (2008.8.10). Developing the Story Retelling Speaking Test for classroom use. *The 34th JASELE* (第34回全国英語教育学会)、昭和女子大学.

②Hirai, A. & Koizumi, R. (2008.6.28). What does the story retelling speaking test measure? Comparison with other types of speaking tests. 30th Annual Language Testing Research Colloquium. Zhejiang University、中国.